

顧りみる時、かの世界大戦の好況の夢破れた大正八年の反動恐慌がいちやく襲つた部門は我が製鐵産業ではなかつたか。即ち鐵に對する需要の激減に加へて、イギリス鋼材、インド鐵條の來襲となり、剩へ中小製鐵業の大部分は戦時、物價高騰期の設立にかゝり、今さら、生産費は割高について、採算がとれず、泡沫の名を止むるものが相次ぐの有様であつた。

今日軍需インフレの恵みを最も多くうけてゐるのは勿論製鐵産業である。しかも軍需インフレが恒久的な景氣ではなく、無理とやりくりの不自然な時代の畸形にすぎないことは誰しも認めるところである。昨年の下半年以來財界梗塞の兆は重工業部門に現はれて來た。來襲する反動は、かの大正八年のそれとは比較にならぬ程大規模のものであり、慘酷たるものであることは豫想される。最も多く毒を喰つたものが一番その斷末魔の苦しみを味はねばならぬ。

故に茲に於て我々が共に注意を喚起せねばならぬことは、斯る場合に當面した時、資本家的經營に於ては犠牲は常に力の弱い方向に轉嫁されることである。即ち我々労働階級へ、殊に未組織労働者へと慘禍は轉嫁される。前述の如く、政府は官民合同當時の製鐵産業國家統制の誓約を裏切つて、資本家的自由競争を激成した。營利を追ふ民間會社の競争的な増産擴張計畫はどしどし認可される。製鐵産業界に於ける日鐵の統制力は次第に奪はれる。現在の景氣の見透しや將來の需給關係の推移を無視して資本家的採算は踊る。そして彼等は云ふ「後は野となれ山となれ、儲けられる間に儲けろ」と。

「股鑑遠からず、昨年八月の東京市電の整理を、經營の不始末は従業員への四割減給と云ふ未曾有の暴舉となつて従業員にその犠牲を強ひられた。製鐵産業界の現在の如き無統制、當局の破廉恥的な無方針の破綻が、何日かは我々製鐵労働者の頭上に、晴天の霹靂となつて振りかゝつて來ることを豫想する時、我々は當局及資本家の爲す所を拱手傍觀して居るわけには行かない。これを國家的見地から見ても、軍事上緊密なる關係を有する製鐵産業を資本家採算に放任して國防の万全を期し得ないことは云はずもがな、早晩來るべき全面的な比率減産の結果必要以上の失業者を出し、一朝有事の際その失業者を昔日の技術を以て労働せしむること不可能となつて工業動員上出まじき損失を與へることになる。

斯る國家的損失と労働者の不當なる犠牲轉嫁とを排除する建前より、我々は國家國防上重要な製鐵産業は公益の精神に則し、國營とし國家の嚴重なる監督統制の下に置き、國家の保証の下に經營すべきであることを主張するものである。換言すれば今日増産擴張の必要あれば、八幡を中心とする日鐵を以て國家の統制監督の下に行ふべきこと、製鐵産業の健全なる發展が期し得られると共に、我々はこの精神の徹底化の爲に戦つてこそ、製鐵労働者の労働條件の確保が期待出来るものと確信する。我組合は、八幡に於ける全従業員を代表するばかりでなく、日鐵三万五千余の製鐵労働者の向ふべき理想を指示し、

非常時日本の産業の重要な死活的鍵を握つて居るのである。即ち我々は此の重要性を確認し、全労働者階級の選ばれる戰士としての矜持を以て進まねばならぬ。

(四)

斯る情勢下に我組合過去一十年の主要なる活動は全従業員組織化の基礎的工作に總ゆる努力を傾けて來た。併して此の收獲の特筆大書すべきものは、八幡製鐵所三万従業員の多年の要望たる單一組織化の第一歩を踏み出したことである。即ち五月十日より十二日、舊日鐵、日協の兩組合共同主催により自主的安全運動を行うて以來、對立の内にあつた兩組合は著しく緊密なる友誼を持つに至り、爾來従業員の大團結の前提として、兩組合の合同と云ふ従業員大衆の切なる輿望に應へて、茲に産業協力精神の下に製鐵産業の發展と平和に協力し、製鐵労働者の福利増進、生活擁護を期すべく、過去三ヶ年間の一切の行應り感情を清算し、兩組合の犠牲的精神と友誼に依り七月廿四日一大合同の完成を見るに至つた事は、實に八幡に於ける過去十余年の労働運動を通じての劃期的な一大盛事として我等の忘れることの出来ない慶である。

更に過去十余年日本労働總同盟の健全なる労働組合精神の下に指導されて來た日本製鐵富士製鐵所の同志諸君が、我組合を中心に一大産業別労働組合を確立すべく、その前提として總同盟の好意ある諒解の下に、同團體を離脱し單獨組合を結成し、改めて本組合に合流を提唱されて來たが、諸種の事情のため本問題は具体化されてをらぬが緊密なる連絡提携を保持しつつある。製鐵産業界は政府の鐵鋼政策の變更によりまさに混亂の危機に當面せんとしてゐる。一方製鐵産業の健全なる發展と従業員的生活擁護のため製鐵國營精神徹底を期して、全製鐵労働者の大統一の拮ぎなき巨歩を一步一歩進めつつあることは、洵に意義深きことである。

今や製鐵所従業員の間を澎湃として起つて來た我が組合支持の聲は、着々具体化し急速に組織擴大しつつある。従業員的生活擁護も、國營精神徹底も先づ全従業員の大統一こそ緊要なる條件である。

過去二年間我等はその準備工作に集中し今やその緒に着くことが出來た。我等はこの一年間の經驗を基礎に組合の擴大強化に邁進し、更らに全製鐵労働者の統一を計り、以て我等の主張貫徹を期すべく組合員諸君の協力奮起を切望するものである。